

早稲田大学人間科学部

1 9 9 7 年 度

学部要項

1996年度以前入学者用

SCHOOL OF HUMAN SCIENCES, WASEDA UNIVERSITY

学 部 要 項

(1996年度以前入学者用)

1997年度

早稲田大学人間科学部

〒359 所沢市三ヶ島2-579-15

電話 0429(47)6848 (ダイヤルイン)

目 次

科目履修要領	2
--------------	---

人間基礎科学科	3
---------------	---

人間健康科学科	12
---------------	----

スポーツ科学科	21
---------------	----

資格取得に関する履修要領	29
--------------------	----

教員免許状	29
-------------	----

社会福祉主事	34
--------------	----

そ の 他	34
-------------	----

科目履修要領

1991年度～1996年度入学者について

次ページ以降の要領で履修してください。

1990年度以前入学者について

1991年度に発行した「学部要項（90年度以前入学者用）」に従って1990年度以前のカリキュラムと1991年度～1996年度のカリキュラムとの間で科目の振替えを行い、さらに次ページ以降の要領で1997年度以降の振替えを行います。

例えば、人間基礎科学科の「比較形態学」未取得者は、「学部要項（90年度以前入学者用）」によって「神経内分泌学及び実習」を履修して振替えることになっています。1997年度以降「神経内分泌学及び実習」に相当する科目は、本要項5ページの表によって「神経内分泌学実習」であることが分かります。

従って、「比較形態学」未取得者は1997年度以降「神経内分泌学実習」を履修することで「比較形態学」に振替えることになります。

履修方法が不明な場合は、人間科学部事務所まで問い合わせてください。

人 間 基 礎 科 学 科

1. 卒業までの履修方法を下表のように変更します。

一般教養科目の各系・教養演習と学科共通専門教育科目に相当する科目を合わせて 38 単位取得することで、これらの科目についての卒業要件を充たすことになります。

一般教育科目		外国語科目		基礎教育科目	専門教育科目				保健体育科目		合計
教養演習	人文科学系 4単位 社会科学系 4単位 自然科学系 4単位 選択履修 8単位	外国語 A	外国語 B		各学科共通		各学科別		スポーツ 実習	スポーツ 理論	
					必修科目	選択科目	必修科目	選択科目			
4	20	6	8	20	10	14	28	24 ^{*1}	4 ^{*2}	138	

一般教育科目 および 各学科共通 選択科目	外国語科目		基礎 教育 科目	専門教育科目			保健体育 科目		合計
	外 国 語 A	外 国 語 B		各学科 共通 必修 科目	各学科別		ス ポ ー ツ 実 習	ス ポ ー ツ 理 論	
					必修 科目	選択 科目			
38	6	8	20	10	28	24 ^{*1}	4 ^{*2}		138

2. 卒業までの履修方法の詳細は、以下のようになります。

- 外国語 A、外国語 B

1996 年度までと同様に、以下の科目が必修です。

科目名	配当学年	単位	科目名	配当学年	単位
英語Ⅰイ・ロ	1	2	外国語Ⅱイ・ロ	1	2
英語Ⅱ	2	2	外国語ⅡⅡイ・ロ	2	2

^{*1} 1991 年度以降入学者は、実習を伴う科目を生物学系・心理行動学系・社会学系のうち 2 学系以上 2 科目以上を履修しなければならない。また、実習科目・講義科目を含め 3 学系からそれぞれ 1 科目以上履修しなければならない。

^{*2} 1992 年以前の入学者は実技 2 科目・講義 1 科目を履修しなければならない。1993 年以降の入学者はスポーツ実習（実技）1 科目を含み 2 科目を履修しなければならない。

● 基礎教育科目

1996 年度までの科目はすべて廃止されました。未取得の科目については、以下のよう
に履修してください。

1996 年度までの科目	配当学年	単位	1997 年度からの履修方法
人間の諸問題	1	4	● 総合講座「人間科学Ⅰ」（半期2単位、1997 年度は、「欲望」「死」「道具」「遊び」の4科目が置かれます）の中から任意の組合わせで不足単位分履修してください。
人間の構造と機能	2	4	
環境論	3	4	● 総合講座「人間科学Ⅱ」（半期2単位、1997 年度は、「狭山の森」「ことば」「エシックス」「差別」の4科目が置かれます）の中から任意の組合わせで不足単位分履修してください。 ● 「人間科学Ⅱ」は3年から履修できます。
バイオエシックス	4	4	
情報処理	1	4	● 「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」（各半期2単位）を履修してください。

● 学科共通必修科目

1996 年度までの科目はすべて廃止されました。未取得の科目については、以下のとおり代替科目を履修してください。

1996 年度までの科目	1997 年度からの代替科目	配当学年	単位
人間発達の心理学	発達心理学	2	2
人間発達の社会学	高齢社会論		
人間発達の生命科学	発生生物学		
人間発達のスポーツ科学	生涯スポーツ論		
人間発達の行動学	発達行動学		

● 学科必修科目

- ① 「生物学概論」「社会学概論」「統計学概論」は廃止されました。未取得の場合、以下の科目を半期履修することで該当科目を履修したものと見なします。

また、「心理学概論」は 1997 年度までで廃止されます。1998 年度以降に「心理学概論」履修する場合も同様とします。

これらの科目の科目登録・成績発表等は 1996 年度までの科目名で行われます。

科 目 名	未取得の場合履修する科目
生物学概論	「人間基礎科学ⅠA」の前期
社会学概論	「人間基礎科学ⅠA」の後期
統計学概論	「統計学」の前期
1998 年度以降の心理学概論	「人間基礎科学ⅠB」の前期

- ② 「行動学概論」は 1997 年度以降も継続して設置されます。
- ③ 「社会生命科学」は廃止されましたので、未取得の場合「科学史」を履修してください。
- ④ 講義科目は、すべて 2 年から履修できることに変わりました。
- ⑤ 「演習Ⅰ」は 1997 年度までで廃止されます。1998 年度以降は新カリキュラムの「人間基礎科学実習」を代替科目とします。
- ⑥ 「演習Ⅱ」は 1998 年度までで廃止されます。1999 年度以降は新カリキュラムの「演習」を代替科目とします。
- ⑦ 「卒業論文」は「卒業研究」に科目名が変更されました。

● 学科選択科目

以下の条件を充たすように 24 単位以上取得してください。

- ・実習科目を 2 科目以上、生物学系・心理行動学系・社会学系の中の異なった学系から取得していること。
- ・実習科目・講義科目を含めて生物学系・心理行動学系・社会学系のそれぞれの学系から 1 科目は取得していること。

設置されている選択科目は下表のとおりです。

ただし、1996 年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996 年度までの相当科目欄が空白の科目は、新設科目です。

〔生物学系〕

学 科 目	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
発生学実習	2～4	3	細胞学・発生学及び実習
神経内分泌学実習			神経内分泌学及び実習
分子細胞生物学実習			分子生物学及び実習
遺伝学実習			遺伝学及び実習
細胞組織学実習			脳神経科学及び実習
神経生理学実習			情報生理学及び実習
生態学実習			生態学及び実習
薬理学実習			薬理学及び実習
神経行動学		2	比較行動学
自然人類学			自然人類学
薬理学			薬物作用学概論
生態系科学			生態系科学
細胞組織学			
分子細胞生物学			
生理学			生理学
内分泌学			
免疫学			

生化学	2 ～ 4	2	
放射能生物学			
遺伝学			
進化学			
動物生態学			

〔心理・行動学系〕

学 科 目	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
心理学研究法実習Ⅰ	2 ～ 4	3	心理学研究法及び実習
心理学研究法実習Ⅱ			心理学的測定法及び実習
精神生理学		2	生理心理学
認知心理学			認知発達理論
非言語行動論			非言語行動論
動機づけ理論			動機づけ理論
比較行動学			
教授学習過程論			
認知行動理論			認知行動理論

〔社会学系〕

学 科 目	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
地域人口学実習Ⅰ	2 ～ 4	3	
地域人口学実習Ⅱ			
村落社会学実習Ⅰ			村落社会学及び実習Ⅰ
村落社会学実習Ⅱ			村落社会学及び実習Ⅱ
家族社会学実習Ⅰ			家族社会学及び実習Ⅰ
家族社会学実習Ⅱ			家族社会学及び実習Ⅱ
都市社会学実習Ⅰ			都市社会学及び実習Ⅰ
都市社会学実習Ⅱ			都市社会学及び実習Ⅱ
社会集団論		2	社会集団論Ⅰ・Ⅱ
ライフコース論			
人口学			人口学Ⅰ・Ⅱ
都市社会学			社会病理学
社会福祉論			社会福祉論Ⅰ・Ⅱ
アジア文化論			
公共政策論			
社会調査論			
家族社会学			
産業・職業社会学			産業・職業社会学

● 一般教育科目・学科共通選択科目

下表の科目の中から３８単位以上取得してください。

人文・社会・自然・共通選択等の系ごとの卒業必要条件はなくなり、どのような組み合わせで３８単位を取得しても良くなりました。ただし、１９９６年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。１９９６年度までの相当科目欄が空白の科目は新設科目です。

科 目 名	配当学年	単位	１９９６年度までの相当科目
Human Science Today[現代の宗教]	１～４	２	
〃 [臓器移植]			
〃 [オリンピック]			
〃 [子どもと現在]			
生物学概論			
数学			基礎数学
化学			化学
物理学			物理学
自然人類学			人類学（自然）
放射能生物学実習		３	
脳神経科学			脳神経科学
人間行動と環境		２	人間行動と環境（医）Ⅰ・Ⅱ
認知心理学			認知理論
エルゴノミクス（基礎）			人間工学Ⅰ
エルゴノミクス（応用）			人間工学Ⅱ
システム論			
シンボルシステム論			
言語・記号論			言語・記号論
視覚言語論			
造形心理学			造形心理学
コミュニケーション論			コミュニケーション論
マスメディア論			
学習とメディア			
ジャーナリズム研究			
政治学			
経済学			経済学
哲学			哲学
倫理学			倫理学
バイオエシックス			バイオエシックス
教育学			教育学
教育制度論			教育法

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
教育環境論	1～4	2	
教育心理学			教育心理学Ⅱ
エゴアイデンティティ			人格心理学
イメージ自己体験法			
臨床心理学			臨床心理学
行動療法			行動療法Ⅰ
性の生物学			
性の心理学			
性教育			
環境史			
社会変動論			社会変動論
社会意識論			社会意識論
生態心理学			教育心理学Ⅰ
人間関係論			人間関係論Ⅰ
対人行動論			人間関係論Ⅱ
組織心理学			組織心理学
社会心理学			社会心理学
空間の心理学			
環境色彩論			
環境生理学			
福祉原論			福祉援助論
比較福祉論			
生涯教育論			
老年心理学			
看護学			
リハビリテーション			リハビリテーション
法学			法学（憲法を含む）
憲法			法学（憲法を含む）
余暇論			余暇論
セラピューティック レクリエーション論			
職場体育論			職場体育論
観光レクリエーション論			
文化心理学			
ジェンダー論			
臨床と文化			
考古学			

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
先史学	1～4	2	
日本民俗学			
宗教学			宗教学
文化人類学			文化人類学
社会開発論			社会開発論
比較文化論			比較文化論
イスラム社会論			
エジプト文明論			比較文明論
ヨーロッパ文化論			ヨーロッパ文化概論
スポーツ史			スポーツ史
武道文化論			
科学史			生命科学論
芸術論			
文学			文学
音楽			
美術史			
表現史			
演劇			
映像論			映像論
舞踊論			ダンス概論
武道論			武道概論
遊戯論			
環境芸術			
コミュニティー・スポーツ論			コミュニティー・スポーツ論
スポーツ環境論			スポーツ工学Ⅰ
スポーツ教育論			
スポーツ行政論			スポーツ行政論
スポーツ情報論			スポーツ情報論
スポーツ産業論			
スポーツマーケティング論			
社会調査法			社会調査Ⅰ
民族スポーツ調査法			社会調査Ⅱ
人体の構造			
身体形態学（解剖学を含む）			身体形態学（解剖学を含む）
スポーツ栄養学			栄養学Ⅰ
メンタルトレーニング論			

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
スポーツ工学	1～4	2	スポーツ工学Ⅱ
運動学			
運動制御論			運動制御論
運動処方論			運動処方論
基礎栄養学			栄養学Ⅱ
衛生学			衛生学
公衆衛生学			公衆衛生学
学校保健			学校保健
精神保健概論			精神衛生概論
心身医学			精神身体医学Ⅰ
医学心理学			精神身体医学Ⅱ
精神医学			精神医学Ⅰ・Ⅱ
画像医学			画像医学Ⅰ・Ⅱ
救急医学			救急医学Ⅱ
救急処置法			救急医学Ⅰ
臨床スポーツ医学			スポーツ医学Ⅱ
保健社会学			保健社会学
医療人類学			

● 自由科目（随意科目）

以下の科目が自由科目（随意科目）として設置されます。

ただし、1996年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996年度までの相当科目欄が空白の科目は新設科目です。

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
上級英語Ⅰ	1～4	2	上級英語Ⅰ
上級英語Ⅱ			上級英語Ⅱ
上級独語Ⅰ			上級独語Ⅰ
上級独語Ⅱ			上級独語Ⅱ
上級仏語Ⅰ			上級仏語Ⅰ
上級仏語Ⅱ			上級仏語Ⅱ

科 目 名	配当学年	単位	1 9 9 6 年度までの相当科目
情報処理Ⅱ* ¹	1 ～ 4	2	
情報処理Ⅲ A* ²	2 ～ 4		
情報処理Ⅲ B* ²			
情報処理Ⅲ C* ²			
情報処理Ⅲ D* ²			
情報処理Ⅲ E* ²			

● 個々の科目に関する注意事項

① 「科学史」

1996年度までに

- ・学科必修科目「社会生命科学」を未取得の場合、その代替科目となります。
- ・学科必修科目「社会生命科学」を取得している場合、一般教育科目自然科学系の「生命科学論」の代替科目となります。
- ・「社会生命科学」「生命科学論」の両方を取得している場合、「科学史」は履修出来ません。

「科学史」を履修した場合、学科必修科目、一般教育・共通選択のどちらの科目となるかは、「社会生命科学」を取得しているかどうかによって自動的に決められます。

② 「自然人類学」

1996年度までの学科選択科目「自然人類学」、一般教育科目自然科学系「人類学（自然）」のどちらの代替科目にも出来ます。科目登録の際、どちらの代替科目とするかを決めてください（科目登録用紙にそのためのマーク欄が設けられています）。

③ 「認知心理学」

1996年度までの学科選択科目「認知発達理論」、学科共通選択科目「認知理論」のどちらの代替科目にも出来ます。科目登録の際、どちらの代替科目とするかを決めてください（科目登録用紙にそのためのマーク欄が設けられています）。

④ 「比較行動学」は、科目名が「神経行動学」に変わりました。1997年度から開講する「比較行動学」は別科目ですから履修にあたって注意してください。

⑤ 一般教育・共通選択科目の「生物学概論」は、基礎科学科必修科目の「生物学概論」とは別科目です。

^{*1} 96年度までの「情報処理」を未取得の場合は、随意科目（自由科目）ではなく、「情報処理」の代替科目となります。

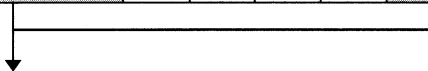
^{*2} 「情報処理Ⅲ A～E」は、96年度までの「情報処理」または97年度からの「情報処理Ⅰ・Ⅱ」を取得していないと履修できません。

人間健康科学科

1. 卒業までの履修方法を下表のように変更します。

一般教養科目の各系・教養演習と学科共通専門教育科目に相当する科目を合わせて 38 単位取得することで、これらの科目についての卒業要件を充たすことになります。

一般教育科目		外国語科目		基礎教育科目	専門教育科目				保健体育科目		合計
教養演習	人文科学系 4単位 社会科学系 4単位 自然科学系 4単位 選択履修 8単位	外国語 A	外国語 B		各学科共通		各学科別		スポーツ 実習	スポーツ 理論	
					必修科目	選択科目	必修科目	選択科目			
4	20	6	8	20	10	14	34	20	4 ^{*1}	140	



一般教育科目 および 各学科共通 選択科目	外国語科目		基礎 教育 科目	専門教育科目			保健体育 科目		合計
	外 国 語 A	外 国 語 B		各学科 共通 必修 科目	各学科別		スポ ー ツ 実 習	スポ ー ツ 理 論	
					必修 科目	選択 科目			
38	6	8	20	10	34	20	4 ^{*1}		140

2. 卒業までの履修方法の詳細は、以下のようになります。

● 外国語A、外国語B

1996年度までと同様に、以下の科目が必修です。

科目名	配当学年	単位	科目名	配当学年	単位
英語Ⅰイ・ロ	1	2	外国語BⅠイ・ロ	1	2
英語Ⅱ	2	2	外国語BⅡイ・ロ	2	2

*1 1992年以前の入学者は実技2科目・講義1科目を履修しなければならない。1993年以降の入学者はスポーツ実習(実技)1科目を含み2科目を履修しなければならない。

● 基礎教育科目

1996 年度までの科目はすべて廃止されました。未取得の科目については、以下のよう
に履修してください。

1996 年度までの科目	配当学年	単位	1997 年度からの履修方法
人間の諸問題	1	4	● 総合講座「人間科学Ⅰ」（半期 2 単位、1997 年度は、「欲望」「死」「道具」「遊び」の 4 科目が置かれます）の中から任意の組合わせで不足単位分履修してください。
人間の構造と機能	2	4	
環境論	3	4	● 総合講座「人間科学Ⅱ」（半期 2 単位、1997 年度は、「狭山の森」「ことば」「エシックス」「差別」の 4 科目が置かれます）の中から任意の組合わせで不足単位分履修してください。 ● 「人間科学Ⅱ」は 3 年から履修できます。
バイオエシックス	4	4	
情報処理	1	4	● 「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」（各半期 2 単位）を履修してください。

● 学科共通必修科目

1996 年度までの科目はすべて廃止されました。未取得の科目については、以下のとおり代替科目を履修してください。

1996 年度までの科目	1997 年度からの代替科目	配当学年	単位
人間発達の心理学	発達心理学	2	2
人間発達の社会学	高齢社会論		
人間発達の生命科学	発生生物学		
人間発達のスポーツ科学	生涯スポーツ論		
人間発達の行動学	発達行動学		

● 学科必修科目

① 以下の科目は廃止されました。未取得の科目については代替科目を履修してください。

1996 年度までの科目	1997 年度からの代替科目	配当学年	単位
福祉援助論	福祉原論	2 ～ 4	2
精神身体医学Ⅱ	医学心理学		
運動・保健概論	特殊環境情報論		
人間関係論Ⅰ	人間関係論		
人間関係論Ⅱ	対人行動論		
環境心理学Ⅱ	環境・行動論		

- ② 「地域福祉論」「臨床心理学」「レクリエーション論」は1997年度以降も開講されます。
- ③ 講義科目は、すべて2年から履修できることになりました。
- ④ 「演習Ⅰ」は1997年度までで廃止されます。1998年度以降は新カリキュラムの実験調査研究法（13科目設置、各2単位）のうち任意の2科目を履修することで「演習Ⅰ」を履修したものと見なします。
- ⑤ 「演習Ⅱ」は1998年度までで廃止されます。1999年度以降は新カリキュラムの「演習」を代替科目とします。
- ⑥ 「卒業論文」は「卒業研究」に科目名が変更されました。

● 学科選択科目

以下の科目の中から20単位以上取得してください。

ただし、1996年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996年度までの相当科目欄が空白の科目は、新設科目です。

学 科 目	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
産業・職業社会学	1 ～ 4	2	産業・職業社会学
社会意識論			社会意識論
社会開発論			社会開発論
コミュニケーション論			コミュニケーション論
余暇論			余暇論
教育心理学			教育心理学Ⅱ
造形心理学			造形心理学
組織心理学			組織心理学
人間行動と環境			人間行動と環境（医）Ⅰ・Ⅱ
行動療法			行動療法Ⅰ
比較文化論			比較文化論
基礎栄養学			栄養学Ⅱ
エルゴノミクス（応用）			人間工学（応用）
環境認知論	2 ～ 4		
環境心理学			環境心理学Ⅰ
教育デザイン論			
日本文化研究			
異文化研究			
比較社会論			
健康心理学			
認知行動療法			行動療法Ⅱ
学校カウンセリング			学校カウンセリング
分析的心理療法			心理療法Ⅱ

学 科 目	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
臨床バイオエシックス	2 ～ 4	2	
人間行動と安全			
バーチャルリアリティ			
マルチメディア インターフェース			
Intercultural Communication			
心理検査法			心理検査法Ⅰ・Ⅱ
行動検査法			行動検査法

● 一般教育科目・学科共通選択科目

下表の科目の中から38単位以上取得してください。

人文・社会・自然・共通選択等の系ごとの卒業必要条件はなくなり、どのような組み合わせで38単位を取得しても良くなりました。ただし、1996 年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996 年度までの相当科目欄が空白の科目は、新設科目です。

科 目 名	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
Human Science Today[現代の宗教]	1 ～ 4	2	
〃 [臓器移植]			
〃 [オリンピック]			
〃 [子どもと現在]			
生物学概論			
数学			基礎数学
化学			化学
物理学			物理学
細胞組織学			
生理学			生理学
内分泌学			
免疫学			
遺伝学			
生化学			
薬理学			薬物作用学概論
分子細胞生物学			
放射能生物学			
進化学			
自然人類学			人類学（自然）
放射能生物学実習		3	

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
脳神経科学	1～4	2	脳神経科学
精神生理学			生理心理学
神経行動学			比較行動学
行動学概論			行動学
比較行動学			
動機づけ理論			動機づけ理論
非言語行動論			非言語行動論
認知心理学			認知理論
エルゴノミクス（基礎）			人間工学Ⅰ
システム論			
シンボルシステム論			
言語・記号論			言語・記号論
視覚言語論			
マスメディア論			
学習とメディア			
ジャーナリズム研究			
政治学			
経済学			経済学
哲学			哲学
倫理学			倫理学
バイオエシックス			バイオエシックス
教育学			教育学
教育制度論			教育法
教育環境論			
教授学習過程論			
ライフコース論			
認知行動理論			認知行動理論
エゴアイデンティティ			人格心理学
イメージ自己体験法			
性の生物学			
性の心理学			
性教育			
生態系科学			生態系科学
動物生態学			
環境史			
人口学			人口学Ⅰ・Ⅱ

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
社会変動論	1～4	2	社会変動論
都市社会学			社会病理学
社会集団論			社会集団論Ⅰ・Ⅱ
公共政策論			
社会調査論			
生態心理学			教育心理学Ⅰ
社会心理学			社会心理学
空間の心理学			
環境色彩論			
環境生理学			
社会福祉論			社会福祉論Ⅰ・Ⅱ
比較福祉論			
生涯教育論			
家族社会学			
老年心理学			
看護学			
リハビリテーション			リハビリテーション
法学			法学（憲法を含む）
憲法			法学（憲法を含む）
セラピューティック レクリエーション論			
職場体育論			職場体育論
観光レクリエーション論			
文化心理学			
ジェンダー論			
臨床と文化			
考古学			
先史学			
日本民俗学			
宗教学			宗教学
文化人類学			文化人類学
アジア文化論			
イスラム社会論			
エジプト文明論			比較文明論
ヨーロッパ文化論			ヨーロッパ文化概論
スポーツ史			スポーツ史
武道文化論			

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
科学史	1～4	2	生命科学論
芸術論			
文学			文学
音楽			
美術史			
表現史			
演劇			
映像論			映像論
舞踊論			ダンス概論
武道論			武道概論
遊戯論			
環境芸術			
コミュニティー・スポーツ論			コミュニティー・スポーツ論
スポーツ環境論			スポーツ工学Ⅰ
スポーツ教育論			
スポーツ行政論			スポーツ行政論
スポーツ情報論			スポーツ情報論
スポーツ産業論			
スポーツマーケティング論			
社会調査法			社会調査Ⅰ
民族スポーツ調査法			社会調査Ⅱ
人体の構造			
身体形態学（解剖学を含む）			身体形態学（解剖学を含む）
スポーツ栄養学			栄養学Ⅰ
メンタルトレーニング論			
スポーツ工学			スポーツ工学Ⅱ
運動学			
運動制御論			運動制御論
運動処方論			運動処方論
衛生学			衛生学
公衆衛生学			公衆衛生学
学校保健			学校保健
精神保健概論			精神衛生概論
心身医学			精神身体医学Ⅰ
精神医学			精神医学Ⅰ・Ⅱ
画像医学			画像医学Ⅰ・Ⅱ

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
救急医学	1～4	2	救急医学Ⅱ
救急処置法			救急医学Ⅰ
臨床スポーツ医学			スポーツ医学Ⅱ
保健社会学			保健社会学
医療人類学			

● 自由科目（随意科目）

以下の科目が自由科目（随意科目）として設置されます。

ただし、1996年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996年度までの相当科目欄が空白の科目は新設科目です。

科 目 名	配当学年	単位	1 9 9 6 年度までの相当科目
上級英語Ⅰ	1 ～ 4	2	上級英語Ⅰ
上級英語Ⅱ			上級英語Ⅱ
上級独語Ⅰ			上級独語Ⅰ
上級独語Ⅱ			上級独語Ⅱ
上級仏語Ⅰ			上級仏語Ⅰ
上級仏語Ⅱ			上級仏語Ⅱ
情報処理Ⅱ* ¹			
情報処理Ⅲ A* ²	2 ～ 4		
情報処理Ⅲ B* ²			
情報処理Ⅲ C* ²			
情報処理Ⅲ D* ²			
情報処理Ⅲ E* ²			

*¹ 96年度までの「情報処理」を未取得の場合は、随意科目（自由科目）ではなく、「情報処理」の代替科目となります。

*² 「情報処理Ⅲ A～E」は、96年度までの「情報処理」または97年度からの「情報処理Ⅰ・Ⅱ」を取得していないと履修できません。

● 個々の科目に関する注意事項

① 「心理検査法」、「行動検査法」

これら2科目は、1996年度まで学科選択科目だった「心理検査法Ⅰ・Ⅱ」「行動検査法」の代替科目ですが、1998年度以降「演習Ⅰ」の代替科目となる実験調査研究法の一科目でもあります。

このため、これら2科目は次の条件をすべて満たす場合「演習Ⅰ」の代替科目とし、それ以外の場合は学科選択科目とします。

- ・「演習Ⅰ」を未取得のものが1998年度以降に履修し、
- ・「心理検査法」、「行動検査法」以外の実験調査研究法で「演習Ⅰ」に相当する4単位を充たせない場合

「演習Ⅰ」の代替科目となるか、学科選択科目となるかは上記の基準によって自動的に決められます。

ス ポ ー ツ 科 学 科

1. 卒業までの履修方法を下表のように変更します。

一般教養科目の各系・教養演習と各学科共通専門教育科目に相当する科目を合わせて38単位取得することで、これらの科目についての卒業要件を充たすことになります。

一般教育科目		外国語科目		基礎教育科目	専門教育科目				保健体育科目		合計
教養演習	人文科学系 4単位 社会科学系 4単位 自然科学系 4単位 選択履修 8単位	外国語 A	外国語 B		各学科共通		各学科別		スポーツ実習	スポーツ理論	
					必修科目	選択科目	必修科目	選択科目			
4	20	6	8	20	10	14	36	18	4 ^{*1}	140	

一般教育科目 および 各学科共通 選択科目	外国語科目		基礎 教育 科目	専門教育科目			保健体育 科目		合計
	外国 語 A	外国 語 B		各学科 共通 必修 科目	各学科別		スポ ーツ 実習	スポ ーツ 理論	
					必修 科目	選択 科目			
38	6	8	20	10	36	18	4* ¹	140	

2. 卒業までの履修方法の詳細は、以下のようになります。

- 外国語A、外国語B

1996年度までと同様に、以下の科目が必修です。

科目名	配当学年	単位	科目名	配当学年	単位
英語Ⅰ イ・ロ	1	2	外国語BⅠ イ・ロ	1	2
英語Ⅱ	2	2	外国語BⅡ イ・ロ	2	2

^{*1} 1992年以前の入学者は実技2科目・講義1科目を履修しなければならない。1993年以降の入学者はスポーツ実習（実技）1科目を含み2科目を履修しなければならない。

● 基礎教育科目

1996 年度までの科目はすべて廃止されました。未取得の科目については、以下のよう
に履修してください。

1996 年度までの科目	配当学年	単位	1997 年度からの履修方法
人間の諸問題	1	4	● 総合講座「人間科学Ⅰ」（半期 2 単位、1997 年度は、「欲望」「死」「道具」「遊び」の 4 科目が置かれます）の中から任意の組合わせで不足単位分履修してください。
人間の構造と機能	2	4	
環境論	3	4	● 総合講座「人間科学Ⅱ」（半期 2 単位、1997 年度は、「狭山の森」「ことば」「エシックス」「差別」の 4 科目が置かれます）の中から任意の組合わせで不足単位分履修してください。 ● 「人間科学Ⅱ」は 3 年から履修できます。
バイオエシックス	4	4	
情報処理	1	4	● 「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」（各半期 2 単位）を履修してください。

● 学科共通必修科目

1996 年度までの科目はすべて廃止されました。未取得の科目については、以下のとおり
代替科目を履修してください。

1996 年度までの科目	1997 年度からの代替科目	配当学年	単位
人間発達の心理学	発達心理学	2	2
人間発達の社会学	高齢社会論		
人間発達の生命科学	発生物学		
人間発達のスポーツ科学	生涯スポーツ論		
人間発達の行動学	発達行動学		

● 学科必修科目

- ① 「スポーツ科学概論」は廃止されました。未取得の場合、「スポーツ科学概論Ⅰ」・「スポーツ科学概論Ⅱ」（ともに半期 2 単位）の両方を履修してください。
- ② 「運動生理学」は、「スポーツ生理学」に科目名が変更されました。
- ③ 「スポーツ科学概論」・「運動生理学」以外の講義科目は、1997 年度以降も開講されます。
- ④ 講義科目は、すべて 2 年から履修できることになりました。
- ⑤ 「演習Ⅰ」の履修方法は、1996 年度までは 1/4 年の演習を 4 つ履修することとなっていました。1997 年度からそれぞれの演習が半期の 1 単位科目となり、それらの中から 4 科目履修することになります。
- ⑥ 「演習Ⅱ A・B」は 1997 年度以降も開講されます。
- ⑦ 「卒業論文」は「卒業研究」に科目名が変更されました。

● 学科選択科目

以下の科目の中から18単位以上取得してください。

ただし、1996年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996年度までの相当科目欄が空白の科目は、新設科目です。

学 科 目	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
スポーツ方法実習Ⅰ（21 科目）	1 ～ 4	2	スポーツ方法論・実習Ⅰ
スポーツ方法実習Ⅱ（10 科目）	2 ～ 4		スポーツ方法論・実習Ⅱ
文献講読演習			原書講読演習
スポーツ法学	1 ～ 4		スポーツ法学
スポーツ行政論			スポーツ行政論
公衆衛生学			公衆衛生学
生理学			生理学
衛生学			衛生学
運動制御論			運動制御論
身体形態学（解剖学を含む）			身体形態学（解剖学を含む）
リハビリテーション			リハビリテーション
音楽理論・実習	2 ～ 4		音楽理論・実習
学校保健	1 ～ 4		学校保健
スポーツ環境論			スポーツ工学Ⅰ
スポーツ工学			スポーツ工学Ⅱ
スポーツ史			スポーツ史
コーチング論			コーチング論
測定評価論			測定評価論
測定評価演習	2 ～ 4		測定評価演習
武道論	1 ～ 4		武道概論
舞踊論			ダンス概論
社会調査法			社会調査Ⅰ
民族スポーツ調査法			社会調査Ⅱ
スポーツ特論・実習（19 科目）	2 ～ 4		スポーツ特論・実習
スポーツ技術論 A（陸上競技系）			
スポーツ技術論 B（水泳競技系）			
スポーツ技術論 C（体操系）			
スポーツ技術論 D（球技系Ⅰ）			
スポーツ技術論 E（球技系Ⅱ）			
スポーツ技術論 F（球技系Ⅲ）			
スポーツ技術論 G（格技系）			
スポーツ技術論 H（野外運動系）			

学 科 目	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
アスレチックコンディショニング [※] 論・実習	2 ～ 4	2	
スポーツ教育論	1 ～ 4		
スポーツ産業論			
スポーツマーケティング [※] 論			
メンタルトレーニング [※] 論			
運動学			
スポーツ医学			スポーツ医学 I

● 一般教育科目・各学科共通選択科目

下表の科目の中から 38 単位以上取得してください。

人文・社会・自然・共通選択等の系ごとの卒業必要条件はなくなり、どのような組み合わせで 38 単位を取得しても良くなりました。ただし、1996 年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996 年度までの相当科目欄が空白の科目は、新設科目です。

科 目 名	配当学年	単位	1996 年度までの相当科目
Human Science Today[現代の宗教]	1～4	2	
〃 [臓器移植]			
〃 [オリンピック]			
〃 [子どもと現在]			
生物学概論			
数学			基礎数学
化学			化学
物理学			物理学
細胞組織学			
内分泌学			
免疫学			
遺伝学			
生化学			
薬理学			薬物作用学概論
分子細胞生物学			
放射能生物学			
進化学			
自然人類学			人類学（自然）
放射能生物学実習		3	
脳神経科学		2	脳神経科学
精神生理学			生理心理学

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
神経行動学	1～4	2	比較行動学
行動学概論			行動学
比較行動学			
人間行動と環境			人間行動と環境（医）Ⅰ・Ⅱ
動機づけ理論			動機づけ理論
非言語行動論			非言語行動論
認知心理学			認知理論
エルゴノミクス（基礎）			人間工学Ⅰ
エルゴノミクス（応用）			人間工学Ⅱ
システム論			
シンボルシステム論			
言語・記号論			言語・記号論
視覚言語論			
造形心理学			造形心理学
コミュニケーション論			コミュニケーション論
マスメディア論			
学習とメディア			
ジャーナリズム研究			
政治学			
経済学			経済学
哲学			哲学
倫理学			倫理学
バイオエシックス			バイオエシックス
教育学			教育学
教育制度論			教育法
教育環境論			
教授学習過程論			
ライフコース論			
教育心理学			教育心理学Ⅱ
認知行動理論			認知行動理論
エゴアイデンティティ			人格心理学
イメージ自己体験法			
臨床心理学			臨床心理学
行動療法			行動療法Ⅰ
性の生物学			
性の心理学			

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
性教育	1～4	2	
生態系科学			生態系科学
動物生態学			
環境史			
人口学			人口学Ⅰ・Ⅱ
社会変動論			社会変動論
都市社会学			社会病理学
社会集団論			社会集団論Ⅰ・Ⅱ
公共政策論			
社会調査論			
社会意識論			社会意識論
生態心理学			教育心理学Ⅰ
人間関係論			人間関係論Ⅰ
対人行動論			人間関係論Ⅱ
組織心理学			組織心理学
社会心理学			社会心理学
空間の心理学			
環境色彩論			
環境生理学			
社会福祉論			社会福祉論Ⅰ・Ⅱ
福祉原論			福祉援助論
比較福祉論			
生涯教育論			
家族社会学			
老年心理学			
看護学			
法学			法学（憲法を含む）
憲法			法学（憲法を含む）
産業・職業社会学			産業・職業社会学
余暇論			余暇論
セラピューティック レクリエーション論			
職場体育論			職場体育論
観光レクリエーション論			
文化心理学			
ジェンダー論			
臨床と文化			

科 目 名	配当学年	単位	1996年度までの相当科目
考古学	1～4	2	
先史学			
日本民俗学			
宗教学			宗教学
文化人類学			文化人類学
社会開発論			社会開発論
比較文化論			比較文化論
アジア文化論			
イスラム社会論			
エジプト文明論			比較文明論
ヨーロッパ文化論			ヨーロッパ文化概論
武道文化論			
科学史			生命科学論
芸術論			
文学			文学
音楽			
美術史			
表現史			
演劇			
映像論			映像論
遊戯論			
環境芸術			
コミュニティー・スポーツ論			コミュニティー・スポーツ論
人体の構造			
スポーツ栄養学			栄養学Ⅰ
運動処方論			運動処方論
基礎栄養学			栄養学Ⅱ
精神保健概論			精神衛生概論
心身医学			精神身体医学Ⅰ
医学心理学			精神身体医学Ⅱ
精神医学			精神医学Ⅰ・Ⅱ
画像医学			画像医学Ⅰ・Ⅱ
救急医学			救急医学Ⅱ
救急処置法			救急医学Ⅰ
臨床スポーツ医学			スポーツ医学Ⅱ
保健社会学			保健社会学
医療人類学			

● 自由科目（随意科目）

以下の科目が自由科目（随意科目）として設置されます。

ただし、1996年度までの相当科目を既に取得している科目は履修できません。

1996年度までの相当科目欄が空白の科目は新設科目です。

科 目 名	配当学年	単位	1 9 9 6 年度までの相当科目
上級英語Ⅰ	1 ～ 4	2	上級英語Ⅰ
上級英語Ⅱ			上級英語Ⅱ
上級独語Ⅰ			上級独語Ⅰ
上級独語Ⅱ			上級独語Ⅱ
上級仏語Ⅰ			上級仏語Ⅰ
上級仏語Ⅱ			上級仏語Ⅱ
情報処理Ⅱ* ¹			
情報処理Ⅲ A* ²	2 ～ 4		
情報処理Ⅲ B* ²			
情報処理Ⅲ C* ²			
情報処理Ⅲ D* ²			
情報処理Ⅲ E* ²			

*¹ 96年度までの「情報処理」を未取得の場合は、随意科目（自由科目）ではなく、「情報処理」の代替科目となります。

*² 「情報処理ⅢA～E」は、96年度までの「情報処理」または97年度からの「情報処理Ⅰ・Ⅱ」を取得していないと履修できません。

資格取得に関する履修要領

教員免許状（スポーツ科学科のみ）

「教科に関する専門教育科目」の履修方法が次ページ以降の表のように変わります。条件は入学年度によって異なりますから注意してください。

【教員免許申請方法と履修方法】

教員免許状の申請方法には「一括申請」と「個人申請」の2種類があります（下記参照）。表中の履修方法に従って単位を取得した場合は「一括申請」を行うことができます。また、各科目について法令上の最低単位（表中に記載）を取得したうえで合計40単位以上取得し、かつ規定された科目範囲を満たしている場合は、「個人申請」により教員免許状を取得することができます。「個人申請」を行う場合は、単位数だけでなく科目範囲をすべて網羅しているか確認する必要がありますので、希望者は事務所でご相談ください。

なお、「一括申請」を行うには、科目により法令上の最低要件より厳しい条件が設定されていますが、保健体育の教員として十分な知識・技能を得るために必要であると当学部が判断した上でのことですので、できる限り「一括申請」に必要な単位を取得してください。

「一括申請」とは：

教員免許状の申請に関し、大学が窓口となり希望者を一括して申請するものです。申請手続はすべて大学で行うことができます。具体的な手続方法は掲示にてお知らせします。

「個人申請」とは：

教員免許状の申請に関し、学生個人が居住地の都道府県教育委員会へ直接申請するものです。この場合の手続方法等は都道府県により異なりますので、各教育委員会へ問い合わせてください。

1995～1996年度入学者

免許法施行規則 第三条、第四条に 規定された科目		最低 単位	左記に該当する当学部設置科目	単位	配当種別	履修方法
体 育 実 技		5	スポーツ方法実習Ⅰ(器械運動) スポーツ方法実習Ⅰ(陸上) スポーツ方法実習Ⅰ(バレーボール) スポーツ方法実習Ⅰ(バスケットボール) スポーツ方法実習Ⅰ(水泳) スポーツ方法実習Ⅰ(サッカー) (男子) ●スポーツ方法実習Ⅰ(柔道) ●スポーツ方法実習Ⅰ(剣道) (女子) スポーツ方法実習Ⅰ(ダンス)	2 2 2 2 2 2 . 2 2 2	学科選択科目	7科目以上 必修 男子は●の うち一方が 必修 (注2)参照
「体育原理，体育 心理学，体育管理 経営学，体育社会 学」及び運動学(運 動方法学を含む)		6	○スポーツ心理学 ○スポーツ経営学 ○スポーツ社会学 ○バイオメカニクス スポーツ法学 スポーツ行政論 運動制御論 コミュニティー・スポーツ論 職場体育論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	学科必修科目 〃 〃 〃 〃 学科選択科目 〃 一般教育・共通選択 〃 〃	○印必修
生理学(運動生理学 を含む)		2	○生理学 ○スポーツ生理学〔運動生理学〕	2 2	学科選択科目 〃	○印必修
衛生学 及び 公衆衛生学		2	○衛生学 公衆衛生学	2 2	学科選択科目 〃	○印必修
学校保健（小児保 健，精神保健，学 校安全及び救急処 置を含む）		5	○学校保健 ○精神保健概論〔精神衛生概論〕 ○救急処置法〔救急医学Ⅰ〕 リハビリテーション スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅰ〕 臨床スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅱ〕	2 2 2 2 2 2	学科選択科目 一般教育・共通選択 〃 学科選択科目 (注3)参照 一般教育・共通選択	○印必修
当 学 部 指 定 必 修 科 目		2	測定評価演習	2	学科選択科目	
大学の加 える教科 に関する 専門科目	専門必 修科目	12	スポーツ科学概論Ⅰ・Ⅱ〔スポーツ科学概論〕 生涯スポーツ論〔人間発達のスポーツ科学〕 スポーツ文化論 体力トレーニング論 スポーツ情報論			
	専門選 択科目		コーチング論 武道論〔武道概論〕 スポーツ環境論〔スポーツ工学Ⅰ〕 舞踊論〔ダンス概論〕 スポーツ栄養学〔栄養学Ⅰ〕		スポーツ史 音楽理論・実習 スポーツ工学〔スポーツ工学Ⅱ〕 運動処方論 身体形態学（解剖学を含む）	

(注1) 科目名の〔〕内は、名称変更される前の科目名である。

(注2) スポーツ方法実習Ⅰ 各2単位の内訳は講義1単位，実技1単位となり，教免法の「体育実技」には実技1単
位分のみが算入されるので，7科目以上を履修しなければならない。

(注3) 1996年度まで一般教育・共通選択科目、1997年度から学科選択科目となる。

1993～1994年度入学者

免許法施行規則 第三条、第四条に 規定された科目	最低 単位	左記に該当する当学部設置科目	単位	配当種別	履修方法
体 育 実 技	5	スポーツ方法実習Ⅰ(器械運動) スポーツ方法実習Ⅰ(陸上) スポーツ方法実習Ⅰ(バレーボール) スポーツ方法実習Ⅰ(バスケットボール) スポーツ方法実習Ⅰ(水泳) スポーツ方法実習Ⅰ(サッカー) (男子) ●スポーツ方法実習Ⅰ(柔道) ●スポーツ方法実習Ⅰ(剣道) (女子) スポーツ方法実習Ⅰ(ダンス)	2 2 2 2 2 2 2 2 2	学科選択科目	7科目以上 必修 男子は●の うち一方が 必修 (注2) 参照
「体育原理，体育 心理学，体育管理 経営学，体育社会 学」及び運動学(運 動方法学を含む)	6	○スポーツ心理学 ○スポーツ経営学 ○スポーツ社会学 ○バイオメカニクス スポーツ法学 スポーツ行政論 運動制御論 コミュニティー・スポーツ論 職場体育論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	学科必修科目 〃 〃 〃 〃 学科選択科目 〃 一般教育・共通選択 〃 〃 〃	○印必修
生理学(運動生理学 を含む)	2	○生理学 ○スポーツ生理学〔運動生理学〕	2 2	学科選択科目 〃	○印必修
衛生学 及び 公衆衛生学	2	○衛生学 公衆衛生学	2 2	学科選択科目 〃	○印必修
学校保健(小児保 健，精神保健，学 校安全及び救急処 置を含む)	5	○学校保健 ○精神保健概論〔精神衛生概論〕 ○救急処置法〔救急医学Ⅰ〕 リハビリテーション スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅰ〕 臨床スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅱ〕	2 2 2 2 2 2	学科選択科目 一般教育・共通選択 〃 学科選択科目 (注3) 参照 一般教育・共通選択	○印必修
当 学 部 指 定 必 修 科 目	4	測定評価論	4	学科選択科目	
大学の加 える教科	12	スポーツ科学概論Ⅰ・Ⅱ〔スポーツ科学概論〕 生涯スポーツ論〔人間発達のスポーツ科学〕 スポーツ文化論 体力トレーニング論 スポーツ情報論			
に関する 専門科目	専門選 択科目	コーチング論 武道論〔武道概論〕 スポーツ環境論〔スポーツ工学Ⅰ〕 舞踊論〔ダンス概論〕 スポーツ栄養学〔栄養学Ⅰ〕		スポーツ史 音楽理論・実習 スポーツ工学〔スポーツ工学Ⅱ〕 運動処方論 身体形態学(解剖学を含む)	

(注1) 科目名の〔〕内は、名称変更される前の科目名である。

(注2) スポーツ方法実習Ⅰ 各2単位の内訳は講義1単位，実技1単位となり，教免法の「体育実技」には実技1単位分のみが算入されるので，7科目以上を履修しなければならない。

(注3) 1996年度まで一般教育・共通選択科目、1997年度から学科選択科目となる。

1991～1992年度入学者

免許法施行規則 第三条、第四条に 規定された科目		最低 単位	左記に該当する当学部設置科目	単位	配当種別	履修方法
体 育 実 技		5	スポーツ方法実習Ⅰ(器械運動) スポーツ方法実習Ⅰ(陸上) スポーツ方法実習Ⅰ(バレーボール) スポーツ方法実習Ⅰ(バスケットボール) スポーツ方法実習Ⅰ(水泳) スポーツ方法実習Ⅰ(サッカー) (男子) ●スポーツ方法実習Ⅰ(柔道) ●スポーツ方法実習Ⅰ(剣道) (女子) スポーツ方法実習Ⅰ(ダンス)	2 2 2 2 2 2 2 2 2	学科選択科目	7科目以上 必修 男子は●の うち一方が 必修 (注2) 参照
「体育原理，体育 心理学，体育管理 経営学，体育社会 学」及び運動学(運 動方法学を含む)		6	○スポーツ心理学 ○スポーツ経営学 ○スポーツ社会学 ○バイオメカニクス スポーツ法学 スポーツ行政論 運動制御論 コミュニティー・スポーツ論 職場体育論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	学科必修科目 学科選択科目 一般教育・共通選択	○印必修
生理学(運動生理学 を含む)		2	○生理学 ○スポーツ生理学〔運動生理学〕	2 2	学科選択科目	○印必修
衛生学 及び 公衆衛生学		2	○衛生学 公衆衛生学	2 2	学科選択科目	○印必修
学校保健(小児保 健，精神保健，学 校安全及び救急処 置を含む)		5	○学校保健 ○精神保健概論〔精神衛生概論〕 ○救急処置法〔救急医学Ⅰ〕 リハビリテーション スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅰ〕 臨床スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅱ〕	2 2 2 2 2 2	学科選択科目 一般教育・共通選択 学科選択科目 (注3) 参照 一般教育・共通選択	○印必修
当 学 部 指 定 必 修 科 目		4	測定評価論	4	学科選択科目	
大学の加 える教科 に関する 専門科目	専門必 修科目	12	スポーツ科学概論Ⅰ・Ⅱ〔スポーツ科学概論〕 生涯スポーツ論〔人間発達のスポート科学〕 スポーツ文化論 体力トレーニング論 スポーツ情報論			
	専門選 択科目		コーチング論 音楽理論・実習 スポーツ工学〔スポーツ工学Ⅱ〕 運動処方論 身体形態学(解剖学を含む)		武道論〔武道概論〕 スポーツ環境論〔スポーツ工学Ⅰ〕 舞踊論〔ダンス概論〕 スポーツ栄養学〔栄養学Ⅰ〕 [比較スポーツ論]	

(注1) 科目名の〔〕内は、名称変更される前の科目名である。

(注2) スポーツ方法実習Ⅰ 各2単位の内訳は講義1単位，実技1単位となり，教免法の「体育実技」には実技1単位分のみが算入されるので，7科目以上を履修しなければならない。

(注3) 1996年度まで一般教育・共通選択科目、1997年度から学科選択科目となる。

1990年度入学者

免許法施行規則 第三条、第四条に 規定された科目		最低 単位	左記に該当する当学部設置科目	単位	配当種別	履修方法
体 育 実 技		5	スポーツ方法実習Ⅰ(器械運動)〔体操〕 スポーツ方法実習Ⅰ(陸上) スポーツ方法実習Ⅰ(バレーボール) スポーツ方法実習Ⅰ(バスケットボール) スポーツ方法実習Ⅰ(ラグビー) スポーツ方法実習Ⅰ(サッカー) スポーツ方法実習Ⅰ(柔道) スポーツ方法実習Ⅰ(剣道) スポーツ方法実習Ⅰ(ダンス) スポーツ方法実習Ⅰ(ニュースポーツ) 〔レクリエーション〕	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	学科選択科目	5科目以上 選択必修 (注3) 参照
「体育原理、体育心理学、体育管理経営学、体育社会学」及び運動学(運動方法学を含む)		6	○スポーツ心理学 ○スポーツ経営学 ○スポーツ社会学 ○バイオメカニクス〔バイオメカニクスⅡ〕 スポーツ法学 スポーツ行政論 運動制御論〔バイオメカニクスⅠ〕 コミュニティ・スポーツ論〔地域体育論〕 職場体育論	2 2 2 2 2 2 2 2	学科必修科目 〃 〃 〃 学科選択科目 〃 一般教育・共通選択 〃 〃	○印必修
生理学(運動生理学を含む)		2	○生理学 ○スポーツ生理学〔運動生理学〕	2 2	学科選択科目 〃	○印必修
衛生学 及び 公衆衛生学		2	○衛生学 公衆衛生学〔公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ〕 〔労働衛生学概論〕	2 2 2	学科選択科目 〃	○印必修
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む)		5	○学校保健 ○精神保健概論〔精神衛生概論〕 ○救急処置法〔救急医学Ⅰ〕 リハビリテーション スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅰ〕 臨床スポーツ医学〔スポーツ医学Ⅱ〕	2 2 2 2 2 2	学科選択科目 一般教育・共通選択 〃 学科選択科目 (注3) 参照 一般教育・共通選択	○印必修
大学の加 える教科 に関する 専門科目	専門必修科目	8	生涯スポーツ論〔人間発達のスポート科学〕 スポーツ文化論 体力トレーニング論 スポーツ情報論			
	専門選択科目		コーチング論 武道論〔武道概論〕 スポーツ環境論〔スポーツ工学Ⅰ〕 舞踊論〔ダンス概論〕 スポーツ栄養学〔栄養学Ⅰ〕 スポーツ史	測定評価論、測定評価演習〔体育測定法・演習〕 音楽理論・実習 スポーツ工学〔スポーツ工学Ⅱ〕 運動処方論 身体形態学(解剖学を含む) 〔比較スポーツ論〕		

(注1) 科目名の〔〕内は、名称変更される前の科目名である。

(注2) スポーツ方法実習Ⅰ 各2単位の内訳は講義1単位、実技1単位となり、教免法の「体育実技」には実技1単位分のみが算入されるので、5科目以上を履修しなければならない。

(注3) 1996年度まで一般教育・共通選択科目、1997年度から学科選択科目となる。

社会福祉主事

社会福祉主事になるには、以下の2表の科目のうちから合わせて3科目以上履修してください。なお、社会福祉主事は公務員として福祉関係業務に従事して初めて取得できる資格です。

表1 1996年度までの該当科目

厚生省告示による 指定科目	当学部設置該当科目	配 当 種 別
教 育 学	教 育 学	一般教育科目 人文科学系
倫 理 学	倫 理 学	一般教育科目 人文科学系
法 律 学	法学(憲法を含む)	一般教育科目 社会科学系
公衆衛生学	公衆衛生学	スポーツ科学科 専門選択科目
精神衛生学	精神衛生概論	学科共通専門選択科目
栄 養 学	栄 養 学 I 栄 養 学 II	学科共通専門選択科目 人間健康科学科 専門選択科目

表2 1997年度以降の該当科目

厚生省告示による 指定科目	当学部設置該当科目	配 当 種 別
倫 理 学	倫 理 学	一般教育・共通選択
経 済 学	経 済 学	一般教育・共通選択
法 律 学	法 学	一般教育・共通選択
教 育 学	教 育 学	一般教育・共通選択
心 理 学	発 達 心 理 学 (人間発達の心理学)	基礎教育科目
社 会 学	高 齢 社 会 論 (人間発達の社会学)	基礎教育科目
公衆衛生学	公衆衛生学	スポーツ科学科専門選択科目
精神衛生学	精神保健概論	一般教育・共通選択
栄 養 学	基 礎 栄 養 学	人間健康科学科では専門選択科目 他学科では一般教育・共通選択
社会福祉概論	社 会 福 祉 論	人間基礎科学科では専門選択科目 他学科では一般教育・共通選択
地域福祉論	地 域 福 祉 論	人間健康科学科専門必修科目
看 護 学	看 護 学	一般教育・共通選択

その他の資格

博物館・図書館法が改正されたことに伴い、1997年度から博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭の資格を取得するための履修方法が変わりました。

また、1997年度から社会教育主事の資格を取得するための教育学部設置科目が人間科学部に開放されました。

これらに関する詳細は、教育学部発行の「各種資格取得の手引き」を参照してください。

